

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 6 年 6 月 3 日

豊 田 市 長 殿

提出者

住所 兵庫県神戸市脇浜町三丁目6番9号

氏名 住友ゴム工業株式会社

代表取締役社長 山本 悟

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 078-265-3000

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和5年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	住友ゴム工業株式会社 名古屋工場
事業場の所在地	豊田市新生町4丁目1番地
事業の種類	19. ゴム製品製造業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	3,187 t	全処理委託量	1,169 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	1,396 t	優良認定処理業者への処理委託量	550 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	1,172 t	再生利用業者への処理委託量	619 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	411 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

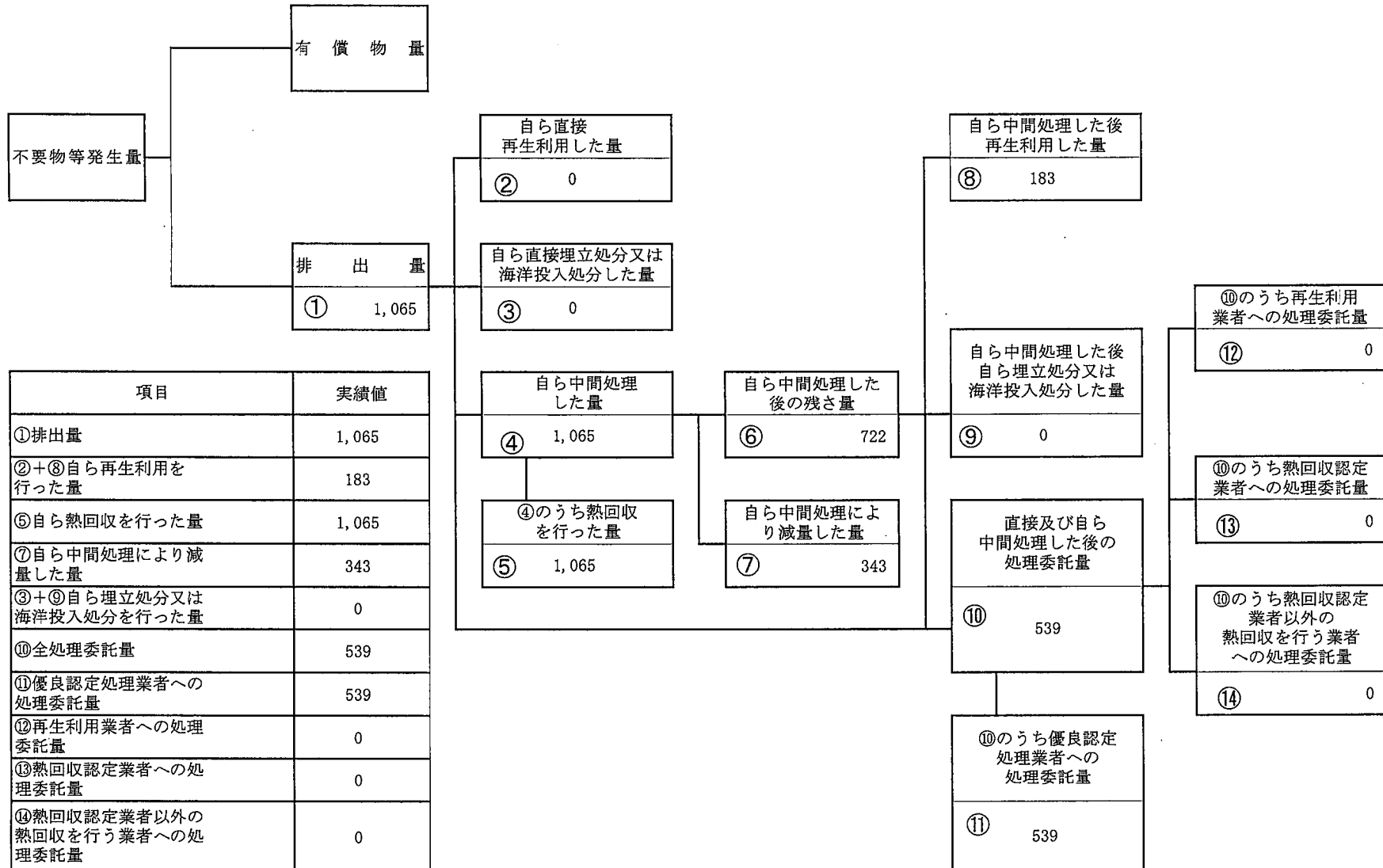
※事務処理欄

(日本工業規格 A列4番)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：廃プラスチック類・廃タイヤ)

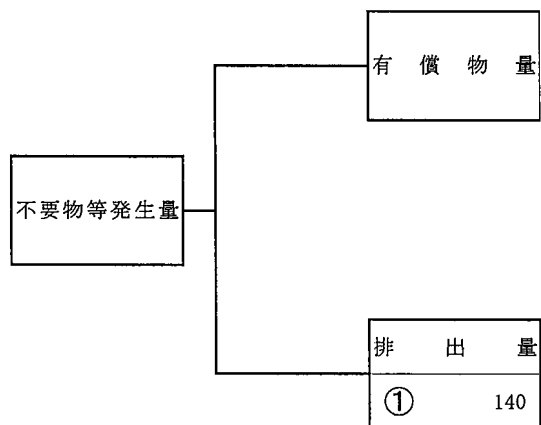
1/11



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：廃プラスチック類・ゴム付きコード)

2/11



項目	実績値
①排出量	140
②+⑧自ら再生利用を行った量	12
⑤自ら熱回収を行った量	67
⑦自ら中間処理により減量した量	21
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	107
⑪優良認定処理業者への処理委託量	34
⑫再生利用業者への処理委託量	73
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

自ら直接再生利用した量

② 0

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

③ 0

自ら中間処理した量

④ 67

④のうち熱回収を行った量

⑤ 67

自ら中間処理した後の残さ量

⑥ 46

自ら中間処理により減量した量

⑦ 21

自ら中間処理した後再生利用した量

⑧ 12

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑨ 0

直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑩ 107

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑪ 34

⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑫ 73

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑬ 0

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

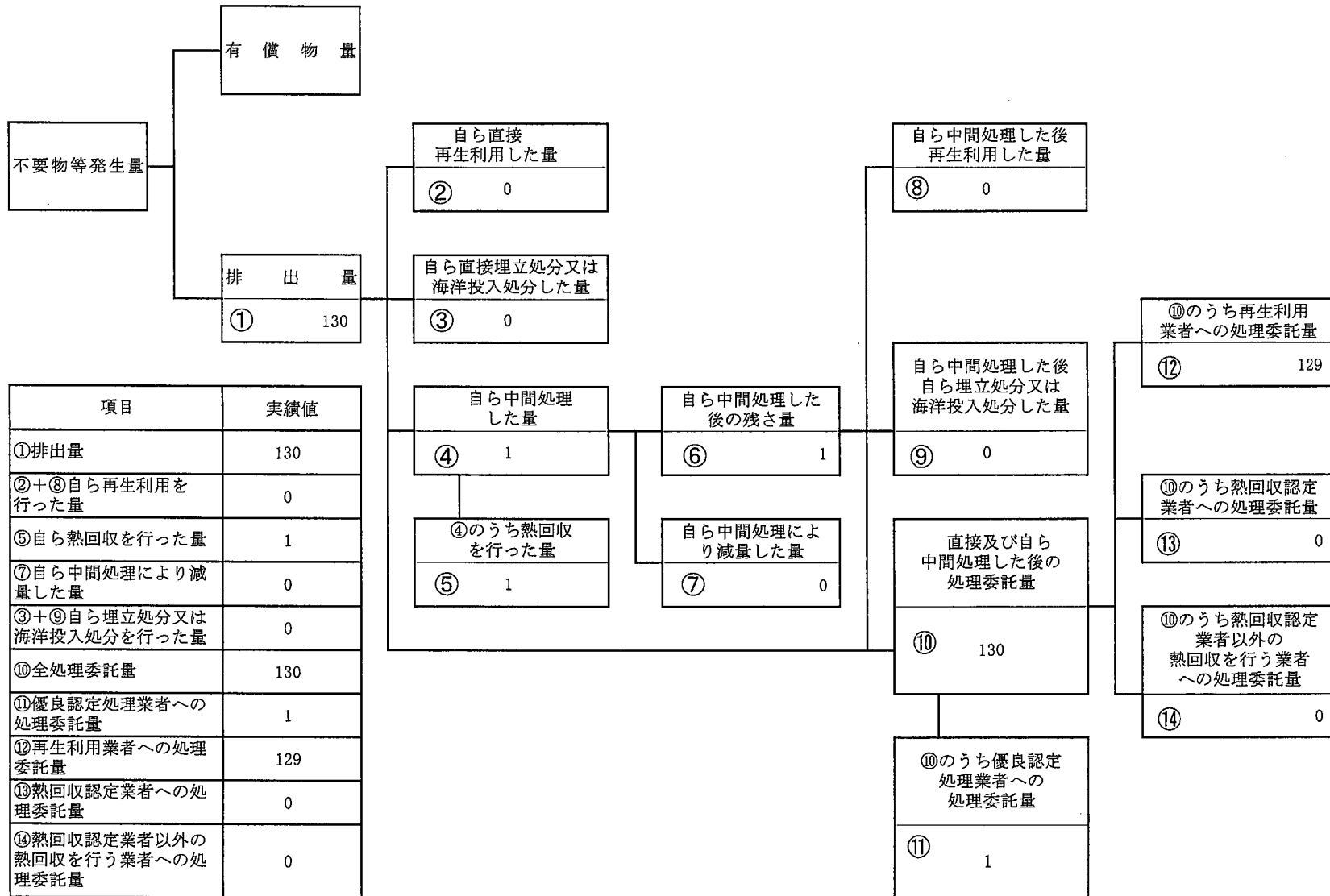
⑭ 0

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：廃プラスチック類・ゴム類)

3/11

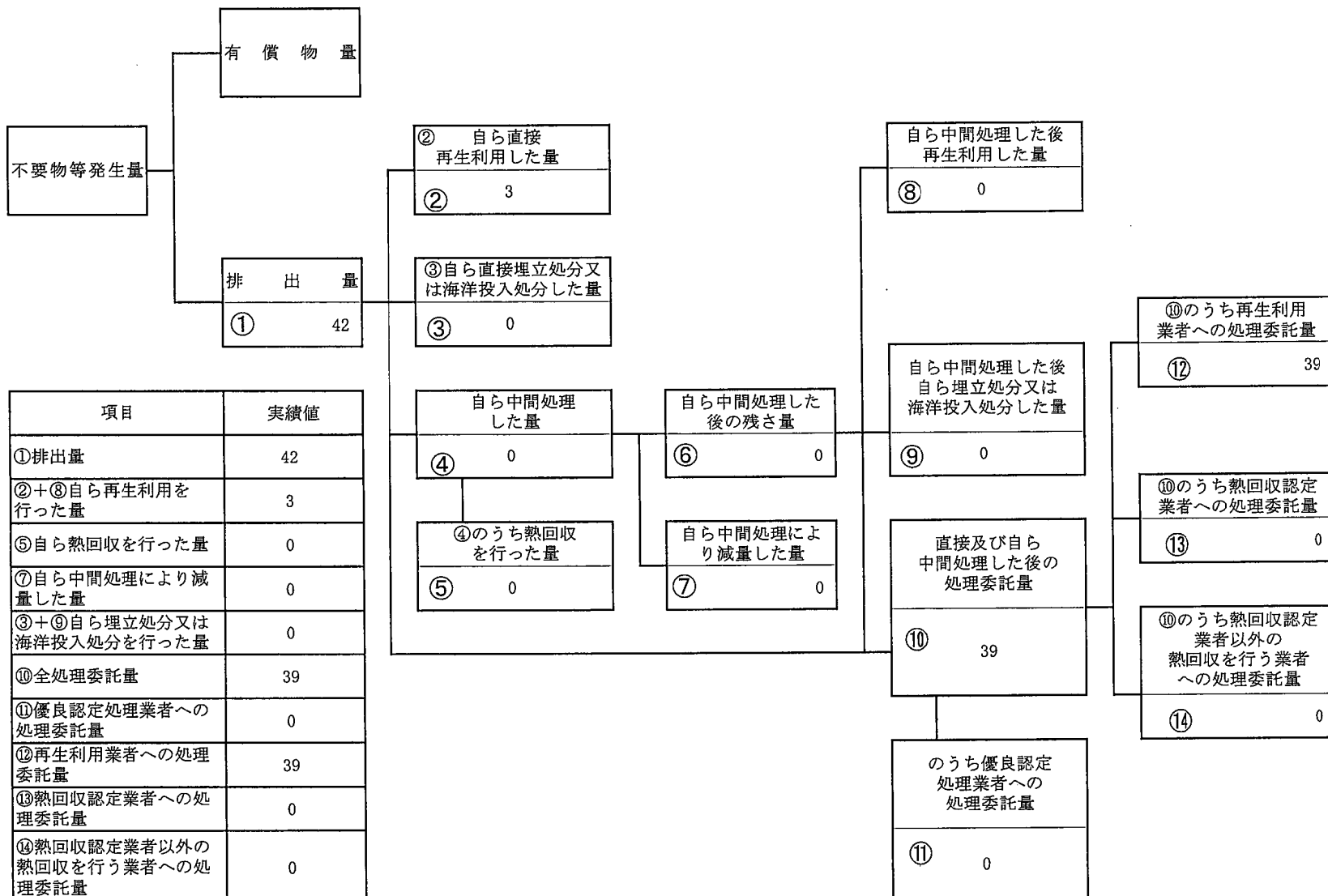


(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：廃プラスチック類・廃ポリくず)

4/11

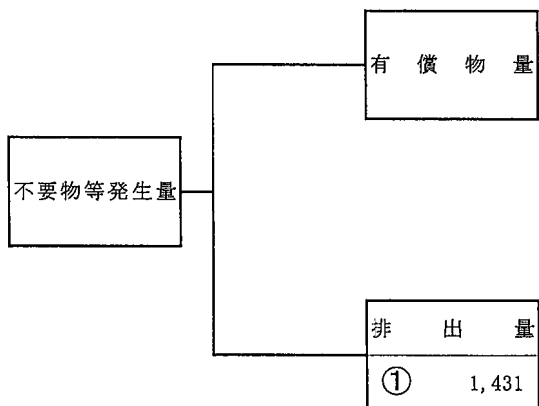


(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：廃プラスチック類・ポリフィルム)

5/11



自ら直接
再生利用した量

② 1,431

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量

③ 0

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑧ 0

項目	実績値
①排出量	1,431
②+⑧自ら再生利用を行った量	1,431
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

自ら中間処理した量

④ 0

④のうち熱回収を行った量

⑤ 0

自ら中間処理した後の残さ量

⑥ 0

自ら中間処理により減量した量

⑦ 0

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑨ 0

直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑩ 0

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑪ 0

⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑫ 0

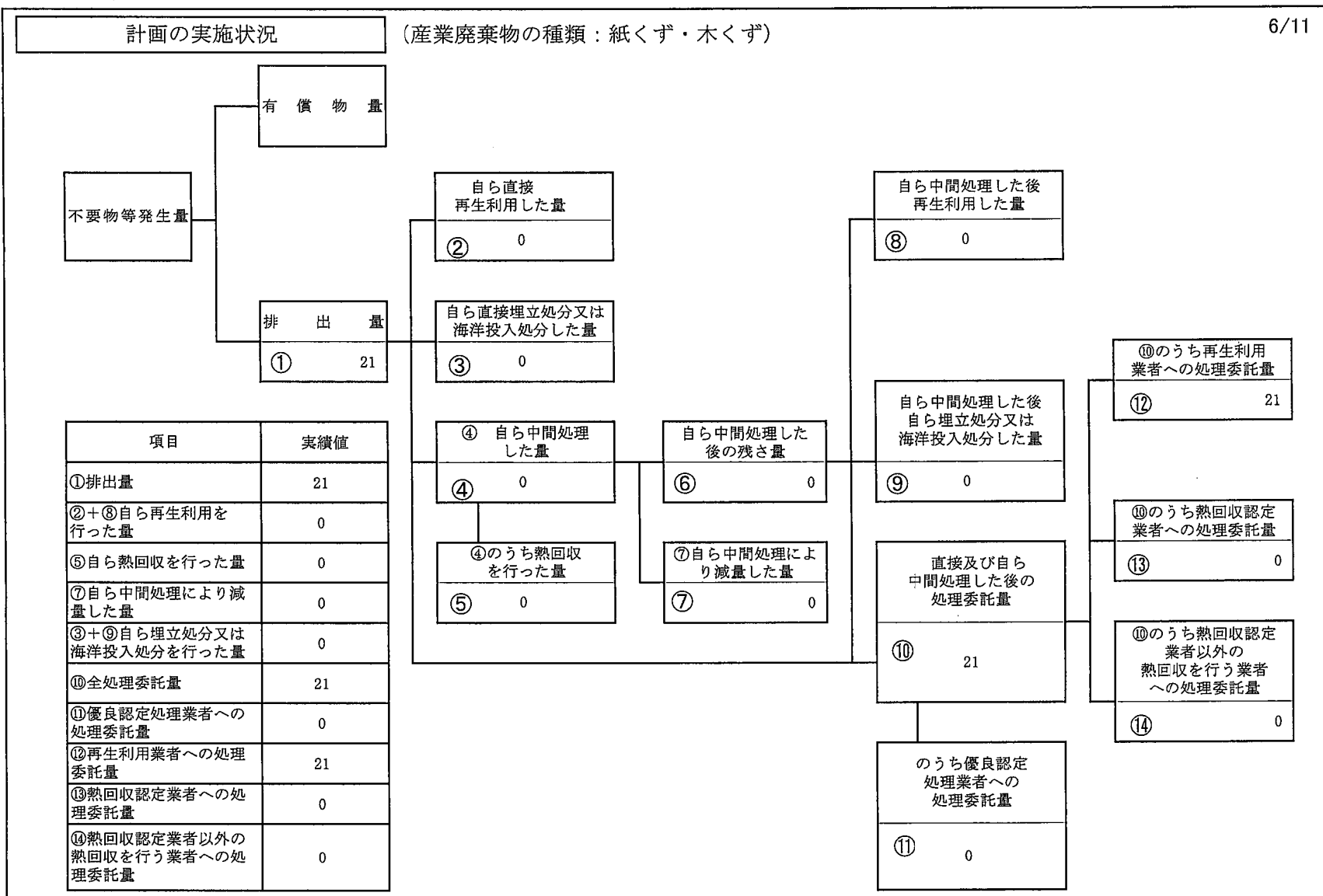
⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑬ 0

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

⑭ 0

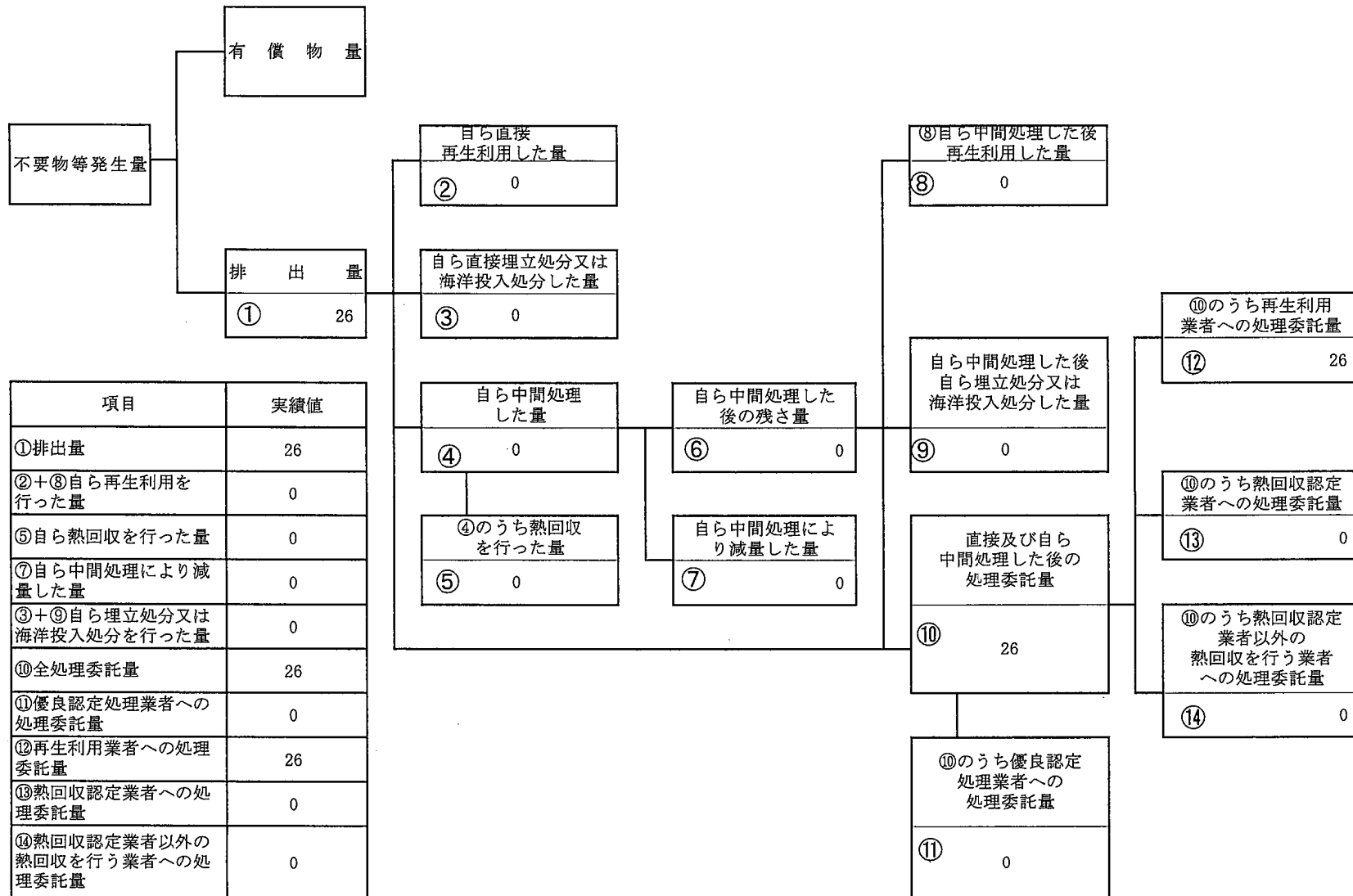
(第2面)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：金属くず)

7/11

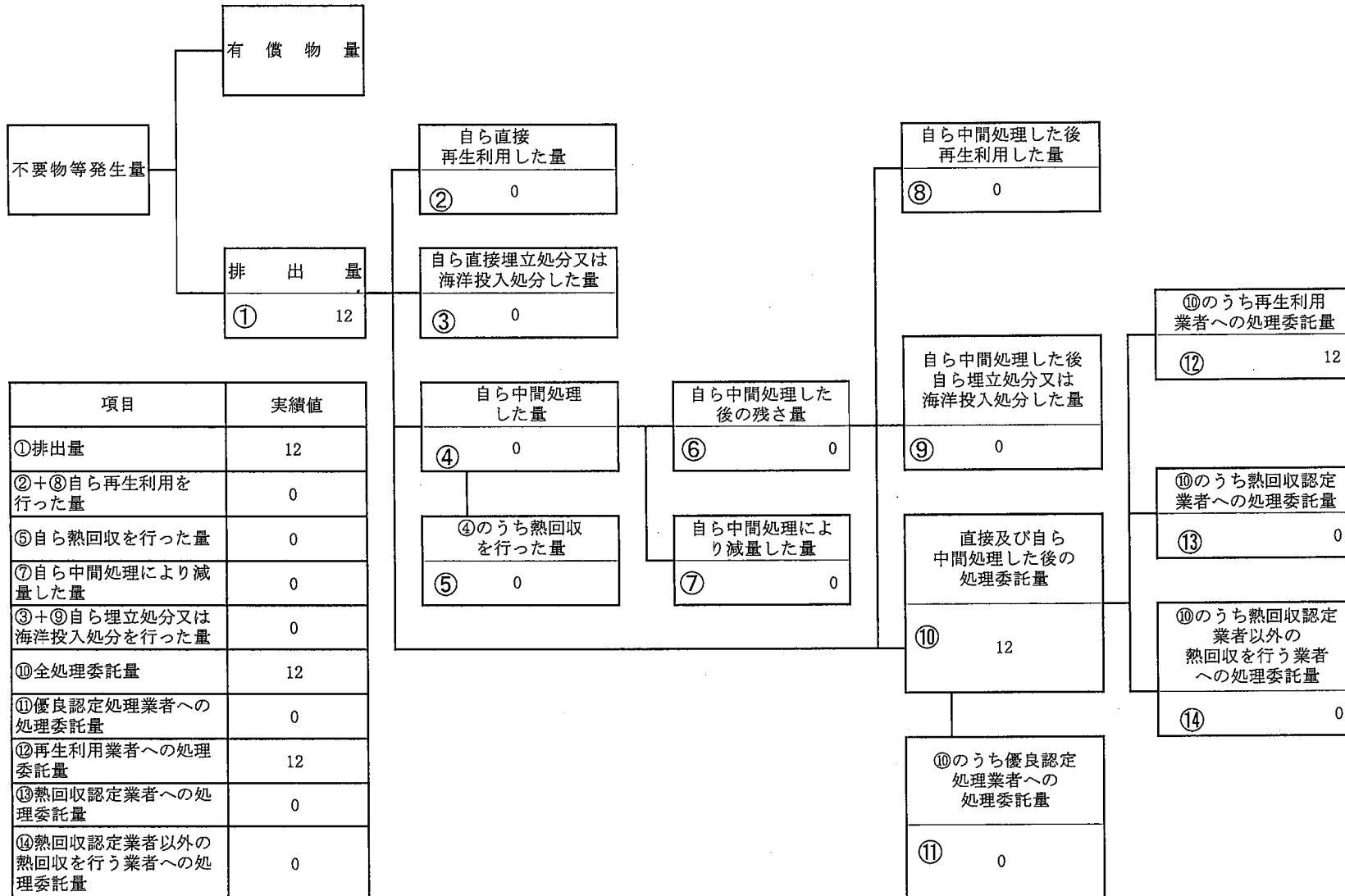


(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：汚泥・生活汚泥)

8/11

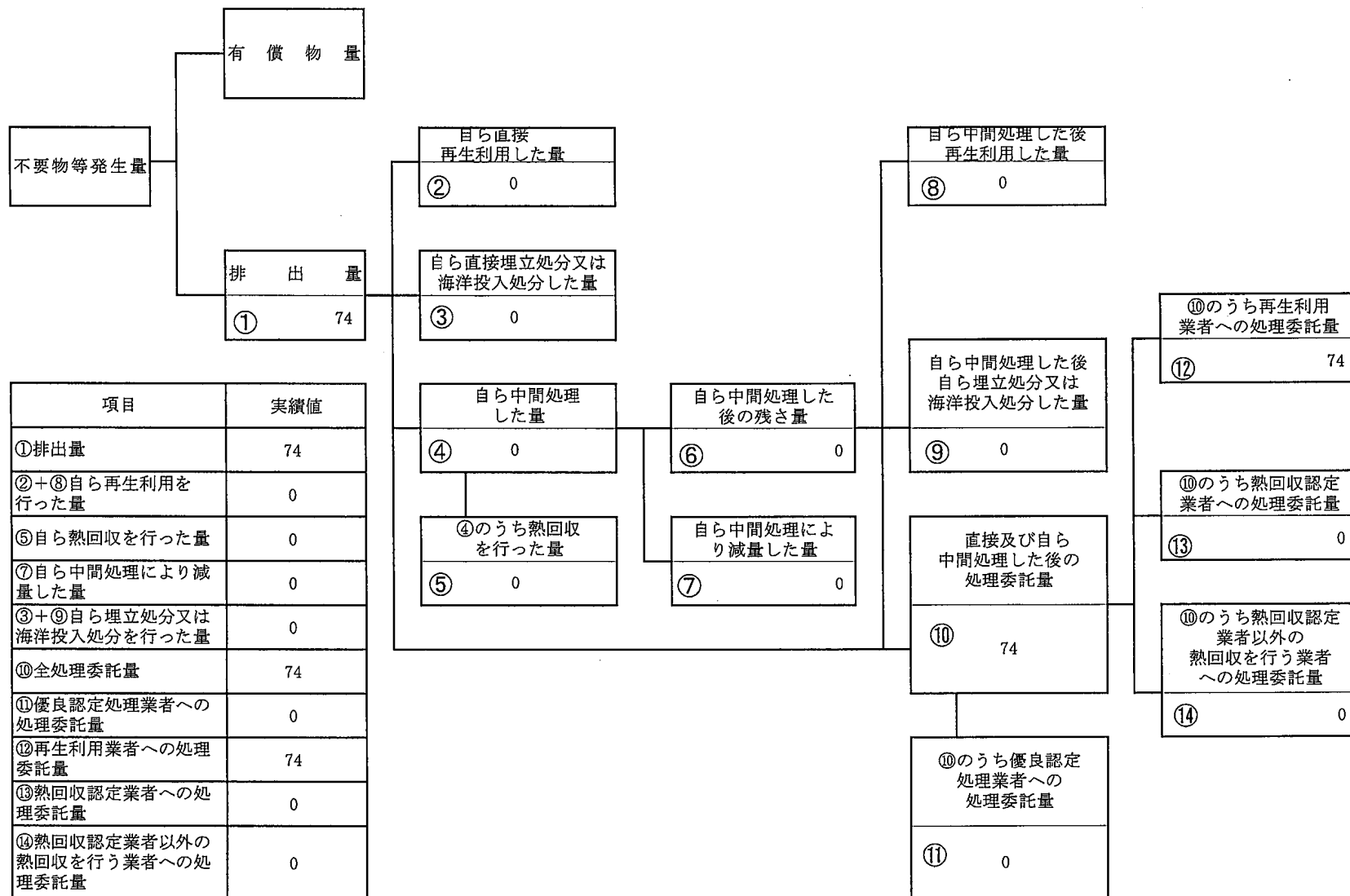


(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：汚泥・薬品汚泥)

9/11

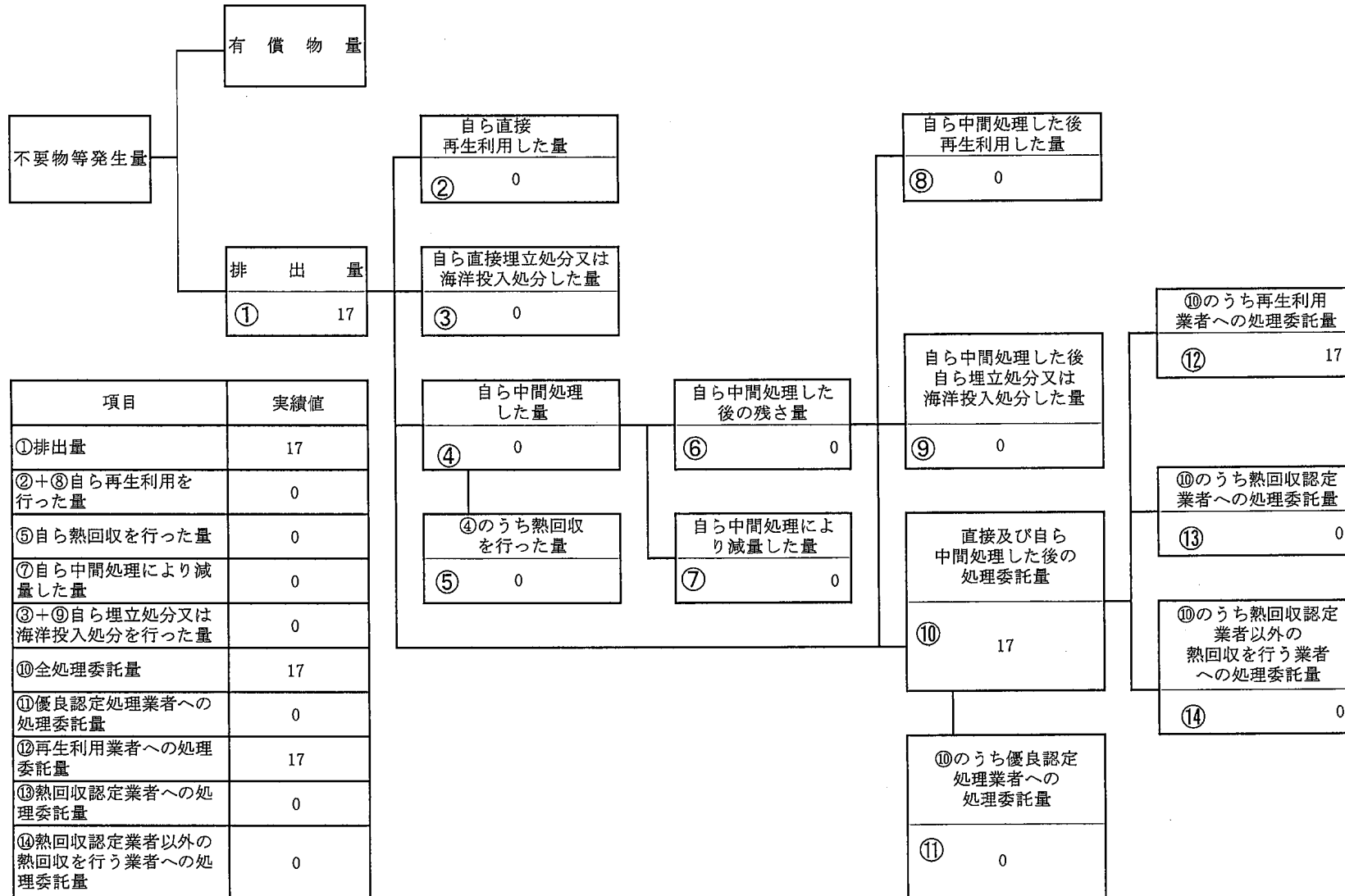


(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：ガラスくず・OA機器、蛍光管)

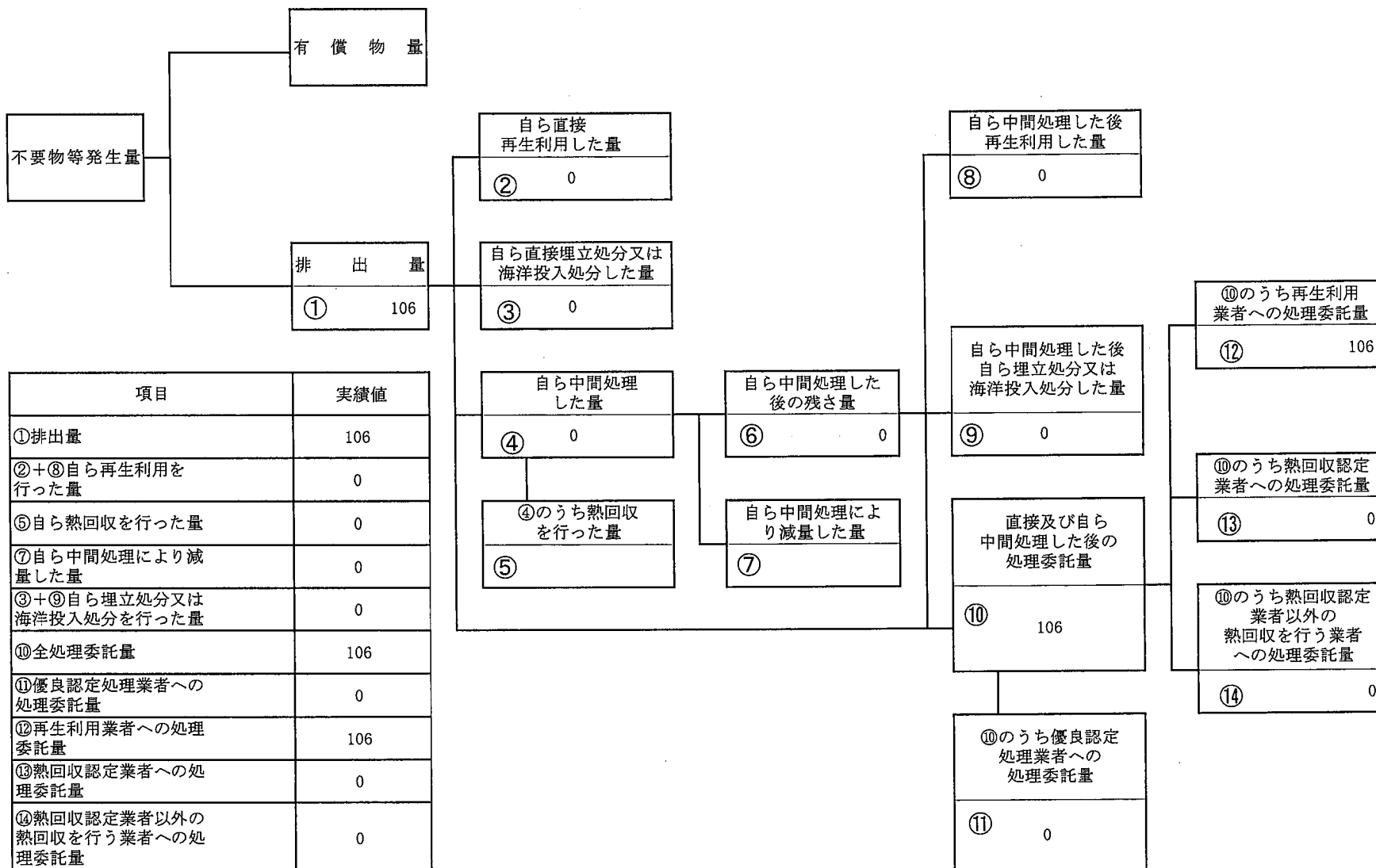
10/11



(第2面)

計画の実施状況

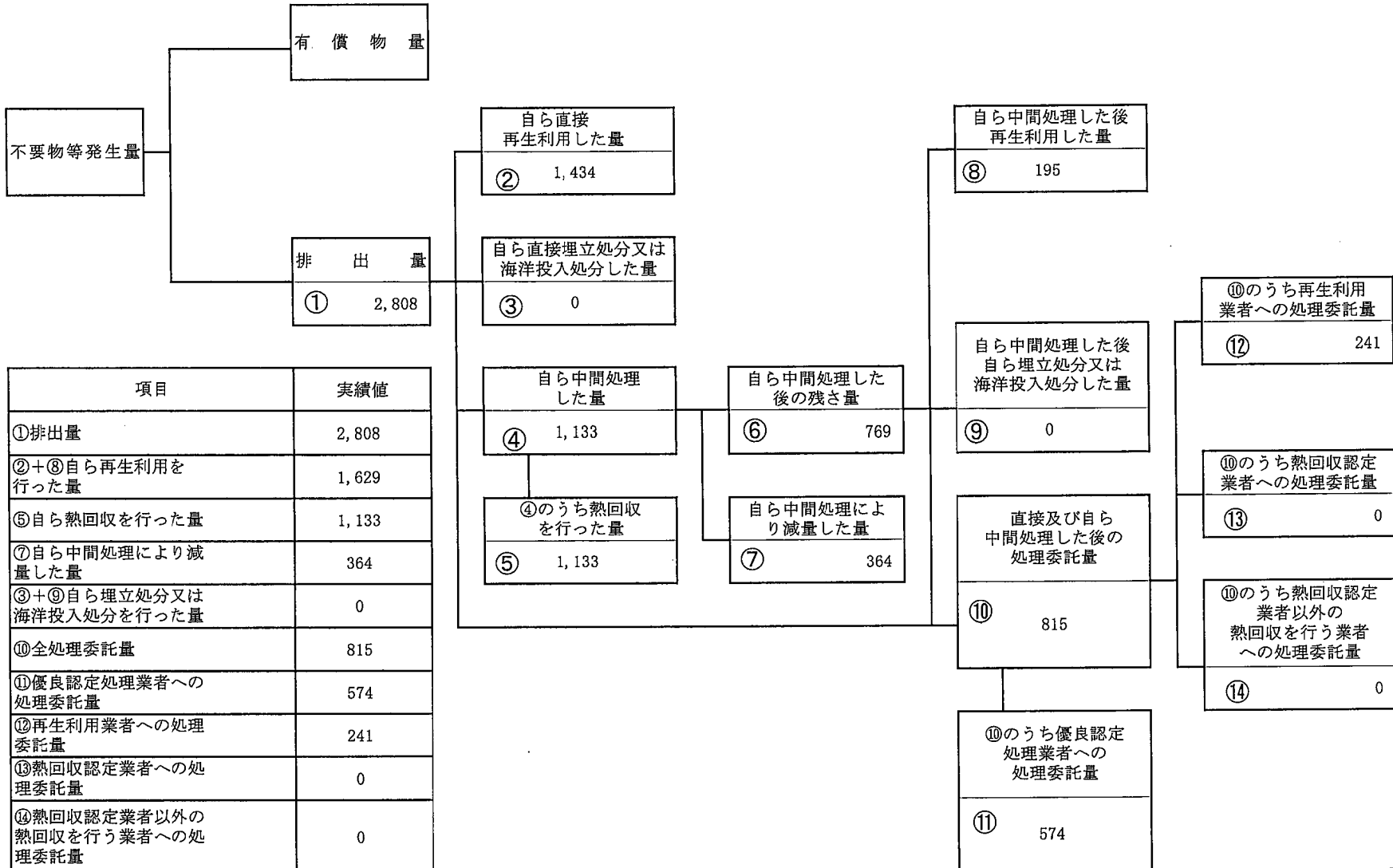
(産業廃棄物の種類：廃油)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： まとめ① 廃プラスチック)

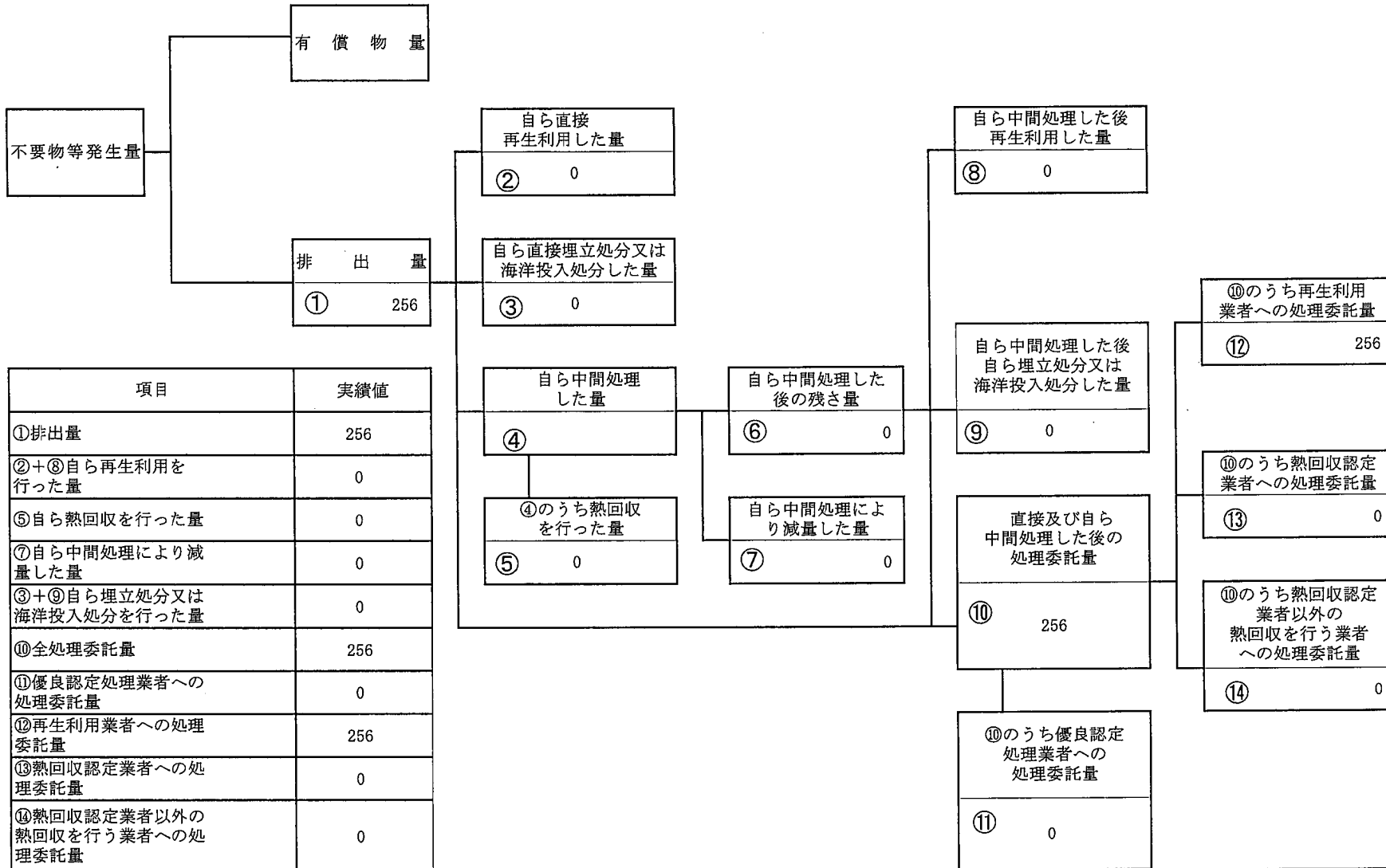
まとめ 1



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： まとめ② その他)

まとめ 2



(第2面)

産業廃棄物処理状況調査票

(No. 1/3)

1 事業場の概要

項目	内容	項目	内容	備考
事業場の名称	住友ゴム工業名古屋工場	従業員数（人）	1,376	前年度の3月31日現在の従業者数（パート等の臨時職員及び役員等を含む）を記入して下さい。
記入者名	環境安全衛生課 山崎 美千哉	当該事業所の元請完成工事高（万円/年）	0	建設業の場合記入。 愛知県内（政令市を除く。）で行われた工事の年間の元請完成工事高（出来高工事を含む）を記入して下さい。
連絡先	0565-28-1577	当該事業所の製造品出荷額（万円/年）	5,084,750	製造業の場合記入。 前年度の4月1日から3月31日までの1年間の額を記入して下さい。

2 実施状況

項目	産業廃棄物の種類 (名称)	産業廃棄物の種類 (名称)				
		廃プラスチック類 廃タイヤ	廃プラスチック類 ゴム付きコード	廃プラスチック類 ゴム類	廃プラスチック類 廃ポリ屑	廃プラスチック類 ポリフィルム
前年度計画の実施状況 (28年度実績)	a 不要物等発生量（t/年）	1,065	977	1,049	230	1,431
	b 有償物量（t/年）	0	837	919	188	0
	① 排出量（t/年）（①=a-b）	1,065	140	130	42	1,431
	② 自ら直接再生利用した量（t/年）	0	0	0	3	1,431
	再生利用用途	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（社内利用）
	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量（t/年）	0	0	0	0	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	④ 自ら中間処理した量（t/年）	1,065	67	1	0	0
	処理方法	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）
	⑦ 自ら中間処理により減量した量（t/年）（⑦=④-⑥）	343	21	0	0	0
	⑥ 自ら中間処理した後の残さ量（t/年）	722	46	1	0	0
	⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量（t/年）	183	12	0	0	0
	再生利用用途	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）
	⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量（t/年）	0	0	0	0	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	c 自ら中間処理した後の処理委託量（t/年）（c=⑥-⑧-⑨）	539	34	1	0	0
	d 直接処理委託量（t/年）（d=①-②-③-④）	0	73	129	39	0
	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量（t/年）（⑩=c+d）	539	107	130	39	0
	e 埋立処分又は海洋投入処分の処理委託量（t/年）	0	0	0	0	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	f 委託中間処理量（t/年）	539	107	130	39	0
	処理方法	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）
	g 委託中間処理により減量した量（t/年）	0	0	0	0	0
	h 委託中間処理した後再生利用した量（t/年）	539	107	130	39	0
	再生利用用途	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）
	i 委託中間処理した後埋立処分又は海洋投入処分した量（t/年）	0	0	0	0	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	j 再生利用量（t/年）（j=②+⑧+h）	722	119	130	42	1,431
	k 中間処理による減量（t/年）（k=⑦+g）	343	21	0	0	0
	l 最終処分量（t/年）（l=③+⑨+e+i）	0	0	0	0	0

(注) 1 産業廃棄物発生・処理フロー図を参考に記載してください。

2 再生利用用途コード A：原料・材料 B：燃料 C：飼料・肥料 D：建設材料 E：その他（具体的に記載）

3 処理方法コード A：焼却・熔融 B：脱水・乾燥 C：破碎・圧縮 D：中和 E：その他（具体的に記載）

4 記入欄が不足する場合は、シートをコピーしてお使いください。なお、この場合、右上No. 欄にページを記載してください。

5 ①～④、⑥～⑩は様式第二号の九又は様式第二号の一四の第2面と同じ項目です。

産業廃棄物処理状況調査票

(No. 2/3)

1 事業場の概要

項目	内容	項目	内容	備考
事業場の名称	住友ゴム工業名古屋工場	従業員数（人）	1,376	前年度の3月31日現在の従業員数（パート等の臨時職員及び役員等を含む）を記入して下さい。
記入者名	環境安全衛生課 山崎 美千哉	当該事業所の元請完成工事高（万円/年）	0	建設業の場合記入。 愛知県内（政令市を除く。）で行われた工事の年間の元請完成工事高（出来高工事を含む）を記入して下さい。
連絡先	0565-28-1577	当該事業所の製造品出荷額（万円/年）	5,084,750	製造業の場合記入。 前年度の4月1日から3月31日までの1年間の額を記入して下さい。

2 実施状況

項目	産業廃棄物の種類 (名称)	紙くず・木くず	金属くず	汚泥	汚泥	ガラスくず
		紙くず・木くず	金属くず	生活汚泥	薬品汚泥	OA機器・蛍光管
前 年 度 計 画 の 実 施 状 況 (28 年 度 実 績)	a 不要物等発生量（t/年）	93	198	12	74	17
	b 有償物量（t/年）	72	172	0	0	0
	① 排出量（t/年）（①＝a－b）	21	26	12	74	17
	② 自ら直接再生利用した量（t/年）	0	0	0	0	0
	再生利用用途	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）
	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量（t/年）	0	0	0	0	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	④ 自ら中間処理した量（t/年）	0	0	0	0	0
	処理方法	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）
	⑦ 自ら中間処理により減量した量（t/年）（⑦＝④－⑥）	0	0	0	0	0
	⑥ 自ら中間処理した後の残さ量（t/年）	0	0	0	0	0
	⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量（t/年）	0	0	0	0	0
	再生利用用途	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）
	⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量（t/年）	0	0	0	0	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	c 自ら中間処理した後の処理委託量（t/年）（c＝⑥－⑧－⑨）	0	0	0	0	0
	d 直接処理委託量（t/年）（d＝①－②－③－④）	21	26	12	74	17
	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量（t/年）（⑩＝c＋d）	21	26	12	74	17
	e 埋立処分又は海洋投入処分の処理委託量（t/年）	0	0	0	0	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	f 委託中間処理量（t/年）	21	26	12	74	17
	処理方法	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（発酵）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）
	g 委託中間処理により減量した量（t/年）	0	0	0	0	0
	h 委託中間処理した後再生利用した量（t/年）	21	26	12	74	17
	再生利用用途	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）
	i 委託中間処理した後埋立処分又は海洋投入処分した量（t/年）	0	0	0	0	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	j 再生利用量（t/年）（j＝②＋⑧＋h）	21	26	12	74	17
	k 中間処理による減量（t/年）（k＝⑦＋g）	0	0	0	0	0
	l 最終処分量（t/年）（l＝③＋⑨＋e＋i）	0	0	0	0	0

(注) 1 産業廃棄物発生・処理フロー図を参考に記載してください。

2 再生利用用途コード A：原料・材料 B：燃料 C：飼料・肥料 D：建設材料 E：その他（具体的に記載）

3 処理方法コード A：焼却・熔融 B：脱水・乾燥 C：破碎・圧縮 D：中和 E：その他（具体的に記載）

4 記入欄が不足する場合は、シートをコピーしてお使いください。なお、この場合、右上No. 欄にページを記載してください。

5 ①～④、⑥～⑩は様式第二号の九又は様式第二号の一四の第2面と同じ項目です。

産業廃棄物処理状況調査票

(No. 3/3)

1 事業場の概要

項目	内容	項目	内容	備考
事業場の名称	住友ゴム工業名古屋工場	従業員数（人）	1,376	前年度の3月31日現在の従業者数（パート等の臨時職員及び役員等を含む）を記入して下さい。
記入者名	環境安全衛生課 山崎 美千哉	当該事業所の元請完成工事高（万円/年）	0	建設業の場合記入。 愛知県内（政令市を除く。）で行われた工事の年間の元請完成工事高（出来高工事を含む）を記入して下さい。
連絡先	0565-28-1577	当該事業所の製造品出荷額（万円/年）	5,084,750	製造業の場合記入。 前年度の4月1日から3月31日までの1年間の額を記入して下さい。

2 実施状況

項目	産業廃棄物の種類 (名称)		廃油				
			廃油				
前 年 度 計 画 の 実 施 状 況 (28 年 度 実 績)	a	不要物等発生量（t/年）	111				
	b	有償物量（t/年）	5				
	①	排出量（t/年）（①＝a－b）	106				
	②	自ら直接再生利用した量（t/年）	0				
		再生利用用途	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）
	③	自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量（t/年）	0				
		埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	④	自ら中間処理した量（t/年）	0				
		処理方法	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）
	⑦	自ら中間処理により減量した量（t/年）（⑦＝④－⑥）	0				
	⑥	自ら中間処理した後の残さ量（t/年）	0				
	⑧	自ら中間処理した後再生利用した量（t/年）	0				
		再生利用用途	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）
	⑨	自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量（t/年）	0				
		埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	c	自ら中間処理した後の処理委託量（t/年）（c＝⑥－⑧－⑨）	0				
	d	直接処理委託量（t/年）（d＝①－②－③－④）	106				
	⑩	直接及び自ら中間処理した後の処理委託量（t/年）（⑩＝c＋d）	106				
	e	埋立処分又は海洋投入処分の処理委託量（t/年）	0				
		埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	f	委託中間処理量（t/年）	106				
		処理方法	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）
	g	委託中間処理により減量した量（t/年）	0				
	h	委託中間処理した後再生利用した量（t/年）	106				
		再生利用用途	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）	A・B・C・D E（ ）
	i	委託中間処理した後埋立処分又は海洋投入処分した量（t/年）	0				
		埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	j	再生利用量（t/年）（j＝②＋⑧＋h）	106				
	k	中間処理による減量（t/年）（k＝⑦＋g）	0				
	l	最終処分量（t/年）（l＝③＋⑨＋e＋i）	0				

(注) 1 産業廃棄物発生・処理フロー図を参考に記載してください。

2 再生利用用途コード A：原料・材料 B：燃料 C：飼料・肥料 D：建設材料 E：その他（具体的に記載）

3 処理方法コード A：焼却・溶融 B：脱水・乾燥 C：破碎・圧縮 D：中和 E：その他（具体的に記載）

4 記入欄が不足する場合は、シートをコピーしてお使いください。なお、この場合、右上No. 欄にページを記載してください。

5 ①～④、⑥～⑩は様式第二号の九又は様式第二号の一四の第2面と同じ項目です。

産業廃棄物処理状況調査票

(No. /) まとめ

1 事業場の概要

項目	内容	項目	内容	備考
事業場の名称	住友ゴム工業名古屋工場	従業員数 (人)	1,376	前年度の3月31日現在の従業者数 (パート等の臨時職員及び役員等を含む) を記入して下さい。
記入者名	環境安全衛生課 山崎 美千哉	当該事業所の元請完成工事高 (万円/年)	0	建設業の場合記入。 愛知県内 (政令市を除く。) で行われた工事の年間の元請完成工事高 (出来高工事を含む) を記入して下さい。
連絡先	0565-28-1577	当該事業所の製造品出荷額 (万円/年)	5,084,750	製造業の場合記入。 前年度の4月1日から3月31日までの1年間の額を記入して下さい。

2 実施状況

産業廃棄物の種類 (名称)		廃油	合計	①	②	③
項目		廃油	①+②+③=	廃タイヤ	廃プラスチック類	その他
前年度計画の実施状況 (28年度実績)	a 不要物等発生量 (t/年)	111	5,257	1,065	3,687	505
	b 有償物量 (t/年)	5	2,193	0	1,944	249
	① 排出量 (t/年) (①=a-b)	106	3,064	1,065	1,743	256
	② 自ら直接再生利用した量 (t/年)	0	1,434	0	1,434	0
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0	0	0	0	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	④ 自ら中間処理した量 (t/年)	0	1,133	1,065	68	0
	処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑦ 自ら中間処理により減量した量 (t/年) (⑦=④-⑥)	0	364	343	21	0
	⑥ 自ら中間処理した後の残さ量 (t/年)	0	769	722	47	0
	⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量 (t/年)	0	195	183	12	0
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0	0	0	0	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	c 自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (c=⑥-⑧-⑨)	0	574	539	35	0
	d 直接処理委託量 (t/年) (d=①-②-③-④)	106	497	0	241	256
	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (⑩=c+d)	106	1,071	539	276	256
	e 埋立処分又は海洋投入処分の処理委託量 (t/年)	0	0	0	0	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	f 委託中間処理量 (t/年)	106	1,071	539	276	256
	処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	g 委託中間処理により減量した量 (t/年)	0	0	0	0	0
	h 委託中間処理した後再生利用した量 (t/年)	106	1,327	815	256	256
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	i 委託中間処理した後埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0	0	0	0	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
j 再生利用量 (t/年) (j=②+⑧+h)		106	2,956	998	1,702	256
k 中間処理による減量 (t/年) (k=⑦+g)		0	364	343	21	0
l 最終処分量 (t/年) (l=③+⑨+e+i)		0	0	0	0	0

(注) 1 産業廃棄物発生・処理フロー図を参考に記載してください。

2 再生利用用途コード A: 原料・材料 B: 燃料 C: 飼料・肥料 D: 建設材料 E: その他 (具体的に記載)

3 処理方法コード A: 焼却・溶融 B: 脱水・乾燥 C: 破碎・圧縮 D: 中和 E: その他 (具体的に記載)

4 記入欄が不足する場合は、シートをコピーしてお使いください。なお、この場合、右上No. 欄にページを記載してください。

5 ①～④、⑥～⑩は様式第二号の九又は様式第二号の一四の第2面と同じ項目です。

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。